ITアーキテクト		研修コース群	アーキテクトの基礎		アーキテクチャメソドロジの基礎	コンサルティングメソドロジの基礎	プロジェクトマネジメント基礎	アーキテクチャメソドロジ上級		ITアーキテクトのリーダシップ	ITアーキテクトのコミュニケーション	ITアーキテクトのネゴシエーション	最新技術動向	インダストリアプリケーション動向	コミュニティ活動	ソリューションアーキテクチャの基礎			ソリューションアーキテクチャ上級		
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	知識項目 ＼ 研修コース名	ITアーキテクト概説	アーキテクチャの考え方	モデリングの基礎	コンサルティングメソドロジの基礎	プロジェクトマネジメント基礎	パフォーマンスエンジニアリング	アーキテクチャパターンの参照と再利用	ITアーキテクトのリーダシップ	ITアーキテクトのコミュニケーション	ITアーキテクトのネゴシエーション	最新技術動向	インダストリアプリケーション動向	コミュニティ活動	アプリケーションアーキテクチャの基礎	インテグレーションアーキテクチャの基礎	インフラストラクチャアーキテクチャの基礎	アプリケーションアーキテクチャ上級	インテグレーションアーキテクチャ上級	インフラストラクチャアーキテクチャの設計
アーキテクチャ設計		要件（制約）の分析と定義	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
アーキテクチャ設計		アーキテクチャ設計指針の定義	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
アーキテクチャ設計		ITアーキテクチャ設計	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
アーキテクチャ設計		アーキテクチャおよび技術的視点から実現可能性評価	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
アーキテクチャ設計		技術上の課題の定義と代替案の分析	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
アーキテクチャ設計		プラットフォーム及び要素技術の評価	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
設計技法		モデリング技法の理解	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
設計技法		データモデリング技法の理解と適用	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
設計技法		プロセスモデリング技法の理解と適用	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
設計技法		パフォーマンスモデリング技法の理解と適用	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
設計技法		アプリケーション設計技法の理解と適用	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
設計技法		インフラストラクチャ設計技法の理解と適用	○	○	○			○	○							○	○	○	○	○	○
標準化と再利用		開発標準の定義	○	○					○							○	○	○	○	○	○
標準化と再利用		基本原則に基づくIT標準の定義	○	○					○							○	○	○	○	○	○
標準化と再利用		既存資産の再利用	○	○					○							○	○	○	○	○	○
標準化と再利用		再利用技法の理解と適用	○	○					○							○	○	○	○	○	○
標準化と再利用		再利用資産の開発と適用	○	○					○							○	○	○	○	○	○
標準化と再利用		再利用資産管理プロセスの理解	○	○					○							○	○	○	○	○	○
コンサルティング技法の活用		コンサルティング技法の選択と活用 ・コンサルティング技法の比較と分析、選定と適用 ・プロセスの定義と実践 ・成果物の定義と作成				○															
コンサルティング技法の活用		分析ツールとモデルの理解と活用 ・事業ライフサイクル（導入期、成長期、成熟期、衰退期）モデル ・プロダクトポートフォリオマネジメント（PPM)モデル ・経験カーブ ・3C分析 ・SWOT分析 ・7Sモデル ・マイケル・ポーターの5Forcesモデル ・バリューチェーン分析				○															
コンサルティングの実施		コンサルティング技術の活用 ・仮説設定 ・データ収集 ・インタビューの実施 ・セッションの運営 ・データ分析 ・検証 ・コミュニケーションとネゴシエーションの実施 ・報告書の作成				○															
コンサルティングの実施		顧客リレーション ・顧客リレーションの確立、維持				○															
知的資産管理（Knowledge Management）活用		知的資産の管理と活用 ・知的資産のデータベース化（付加価値、構造化、共有化） ・知的資産の活用 ・知的資産の維持、管理 ・効果の把握と改善の実施 ・ビジネスモデル特許				○															
テクノロジ		IT業界動向の把握 ・国内外のIT市場規模、動向の把握 ・アプリケーションに関わる技術動向の把握 ・ビジネス特許に関わる技術動向の把握	○	○				○	○				○			○	○	○			
テクノロジ		関連技術（IT）動向の把握 ・ハードウェア技術動向の把握 ・ミドルウェア技術動向の把握 ・プラットフォーム技術動向の把握 ・ネットワーク技術動向の把握 ・データベース技術動向の把握 ・セキュリティ技術動向の把握 ・システム管理技術動向の把握	○	○				○	○				○			○	○	○			
テクノロジ		関連技術（IT）標準の理解と適用	○	○				○	○				○			○	○	○			
インダストリ（ビジネス）		関連業界動向の把握 ・インダストリビジネス動向、技術動向、競合状況の把握											○	○							
インダストリ（ビジネス）		関連業界アプリケーションの把握 ・インダストリ共通アプリケーションに関する知識の活用 ・インダストリ固有アプリケーションに関する知識の活用 ・最適プラットフォーム選定 ・インダストリアプリケーション設計の実践											○	○							
インダストリ（ビジネス）		関連業界（ビジネス）標準の理解と適用 ・インダストリ用語、関連法規の把握と活用 ・インダストリ別事業環境の把握と活用 ・インダストリ別ビジネス慣行の把握と活用 ・インダストリ固有業務内容の把握と活用											○	○							
	アプリケーションアーキテクチャ設計	機能要件の定義 ・対象ドメインの知識												○		○			○		
	アプリケーションアーキテクチャ設計	機能アーキテクチャ設計 ・ユーザインタフェース ・アプリケーション構造 ・論理データ構造						○						○		○			○		
	アプリケーションアーキテクチャ設計	機能アーキテクチャ実現性の評価 ・アプリケーション開発技法の評価 ・アプリケーション開発ツールの評価 ・アプリケーションテスト戦略、計画の評価 ・業務移行戦略・計画の評価						○						○		○			○		

©2006経済産業省，独立行政法人　情報処理推進機構

ITアーキテクト		研修コース群	アーキテクトの基礎		アーキテクチャメソドロジの基礎	コンサルティングメソドロジの基礎	プロジェクトマネジメント基礎	アーキテクチャメソドロジ上級		ITアーキテクトのリーダシップ	ITアーキテクトのコミュニケーション	ITアーキテクトのネゴシエーション	最新技術動向	インダストリアプリケーション動向	コミュニティ活動	ソリューションアーキテクチャの基礎			ソリューションアーキテクチャ上級		
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	知識項目 ＼ 研修コース名	ITアーキテクト概説	アーキテクチャの考え方	モデリングの基礎	コンサルティングメソドロジの基礎	プロジェクトマネジメント基礎	パフォーマンスエンジニアリング	アーキテクチャパターンの参照と再利用	ITアーキテクトのリーダシップ	ITアーキテクトのコミュニケーション	ITアーキテクトのネゴシエーション	最新技術動向	インダストリアプリケーション動向	コミュニティ活動	アプリケーションアーキテクチャの基礎	インテグレーションアーキテクチャの基礎	インフラストラクチャアーキテクチャの基礎	アプリケーションアーキテクチャ上級	インテグレーションアーキテクチャ上級	インフラストラクチャアーキテクチャの設計
	インテグレーションアーキテクチャ設計	統合要件の定義 ・対象ドメインの知識 ・システム管理、運用 ・セキュリティ ・ネットワーク ・プラットフォーム ・性能とキャパシティ ・IT標準など															○			○	
	インテグレーションアーキテクチャ設計	統合アーキテクチャ設計 ・ユーザインタフェース統合設計 ・アクセス統合設計 ・アプリケーション統合設計 ・プロセス統合設計 ・データ統合設計						○									○			○	
	インテグレーションアーキテクチャ設計	統合アーキテクチャ実現可能性の評価 ・再利用および標準化の促進 ・アプリケーション開発技法の評価 ・アプリケーション開発ツールの評価 ・アプリケーションテスト戦略、計画の評価 ・業務移行戦略・計画の評価 ・システム基盤設計技法の評価 ・システム基盤設計ツールの評価 ・システム基盤テスト戦略、計画の評価 ・システム基盤移行戦略、計画の評価						○									○			○	
	インフラストラクチャアーキテクチャ設計	インフラストラクチャ要件（主に非機能要件）の定義 ・対象ドメインの知識 ・システム管理、運用 ・セキュリティ ・ネットワーク ・プラットフォーム ・性能とキャパシティなど																○			○
	インフラストラクチャアーキテクチャ設計	インフラストラクチャアーキテクチャ設計 ・システム管理・運用設計 ・セキュリティ設計 ・ネットワーク設計 ・プラットフォーム設計（OS、ミドルウェアなど） ・パフォーマンス設計 ・可用性設計 ・物理データ構造設計など						○										○			○
	インフラストラクチャアーキテクチャ設計	インフラストラクチャアーキテクチャ実現可能性の評価 ・システム基盤設計技法の評価 ・システム基盤設計ツールの評価 ・システム基盤テスト戦略、計画の評価 ・システム基盤移行戦略、計画の評価						○										○			○
ソフトウェアエンジニアリング		セキュリティとプライバシ ・セキュリティ対策（機密保護、改ざん防止対応、不正侵入、コンピュータウィルス、インテグリティ対策、可用性対策、安全対策、ソーシャルエンジニアリング） ・プライバシ保護 ・リスク管理 ・ガイドラインと関連法規	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		テスト技法 ・テストケース設計 ・仕様決定 ・テスト環境設定 ・管理 ・テストデータ準備 ・テストツールの活用	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		プログラミング技術 ・各種プログラミング言語技術の活用と実践	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		開発支援ツールの活用 ・開発環境 ・各種アプリケーション開発ツール ・構成管理ツール ・デバッガ、シミュレータ等	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		開発手法 ・開発手法の選定 ・開発手法の活用と実践 ・ウォーターフォール型、RAD型、スパイラル型 ・業務パッケージ固有の開発手法	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		再利用手法 ・ソフトウェア部品の利用 ・先行プロジェクトの成果物利用 ・再利用手法の活用と実践	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		オブジェクト指向開発 ・オブジェクト指向の基本概念 ・UML ・オブジェクト指向開発プロセス ・分析、設計、実装 ・主なオブジェクト指向技術	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		セキュリティシステムの実装、検査 ・セキュリティ製品、ツールの選定、導入 ・セキュリティ機能の開発 ・セキュリティ技術の実装	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		外部設計 ・外部設計の手順 ・システム機能設計 ・データモデルの設計 ・外部設計書の作成	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		設計手法 ・オブジェクト指向設計 ・構造化設計 ・データ中心型設計	○																		
ソフトウェアエンジニアリング		内部設計 ・機能設計 ・インタフェース設計 ・内部データ設計 ・サブコンポーネントの識別、役割定義 ・サブコンポーネント間の関係定義 ・内部設計書の作成	○																		

©2006経済産業省，独立行政法人　情報処理推進機構

ITアーキテクト		研修コース群	アーキテクトの基礎		アーキテクチャメソドロジの基礎	コンサルティングメソドロジの基礎	プロジェクトマネジメント基礎	アーキテクチャメソドロジ上級		ITアーキテクトのリーダシップ	ITアーキテクトのコミュニケーション	ITアーキテクトのネゴシエーション	最新技術動向	インダストリアプリケーション動向	コミュニティ活動	ソリューションアーキテクチャの基礎			ソリューションアーキテクチャ上級		
職種共通スキル項目	専門分野固有スキル項目	知識項目 ＼ 研修コース名	ITアーキテクト概説	アーキテクチャの考え方	モデリングの基礎	コンサルティングメソドロジの基礎	プロジェクトマネジメント基礎	パフォーマンスエンジニアリング	アーキテクチャパターンの参照と再利用	ITアーキテクトのリーダシップ	ITアーキテクトのコミュニケーション	ITアーキテクトのネゴシエーション	最新技術動向	インダストリアプリケーション動向	コミュニティ活動	アプリケーションアーキテクチャの基礎	インテグレーションアーキテクチャの基礎	インフラストラクチャアーキテクチャの基礎	アプリケーションアーキテクチャ上級	インテグレーションアーキテクチャ上級	インフラストラクチャアーキテクチャの設計
プロジェクトマネジメント		プロジェクト統合マネジメント ・プロジェクト憲章作成 ・プロジェクト・スコープ記述書暫定版作成 ・プロジェクトマネジメント計画書作成 ・プロジェクト実行の指揮・マネジメント ・プロジェクト作業の監視コントロール ・統合変更管理 ・プロジェクト終結				○	○														
プロジェクトマネジメント		プロジェクト・スコープ・マネジメント ・スコープ計画 ・スコープ定義 ・WBS作成 ・スコープ検証 ・スコープ・コントロール					○														
プロジェクトマネジメント		プロジェクト・タイム・マネジメント ・アクティビティ定義 ・アクティビティ順序設定 ・アクティビティ資源見積り ・アクティビティ所要期間見積り ・スケジュール作成 ・スケジュール・コントロール					○														
プロジェクトマネジメント		プロジェクト・コスト・マネジメント ・コスト見積り ・コストの予算化 ・コスト・コントロール					○														
プロジェクトマネジメント		プロジェクト品質マネジメント ・品質計画 ・品質保証 ・品質管理					○														
プロジェクトマネジメント		プロジェクト人的資源マネジメント ・人的資源計画 ・プロジェクト・チーム編成 ・プロジェクト・チーム育成 ・プロジェクト・チームのマネジメント					○														
プロジェクトマネジメント		プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント ・コミュニケーション計画 ・情報配布 ・実績報告 ・ステークホルダー・マネジメント					○														
プロジェクトマネジメント		プロジェクト・リスク・マネジメント ・リスク・マネジメント計画 ・リスク識別 ・定性的リスク分析 ・定量的リスク分析 ・リスク対応計画 ・リスクの監視コントロール					○														
プロジェクトマネジメント		プロジェクト調達マネジメント ・購入・取得計画 ・契約計画 ・納入者回答依頼 ・納入者選定 ・契約管理 ・契約終結					○														
リーダシップ		技術的方向性の設定 ・リーダシップの基本や原則の把握と実践								○											
リーダシップ		リーダシップ ・リーダシップの基本や原則の把握、実践 ・チームワークとコミュニケーションの実践 ・プロジェクト目標の設定 ・プロジェクトの推進 ・プロジェクトの実行 ・プロジェクト管理 ・チームメンバの連携 ・チームメンバの動機付けと達成感の提供								○											
リーダシップ		リーダシップ（技術チーム内） ・目標の設定 ・ITアーキテクト業務の推進 ・ITアーキテクト業務の実行 ・ITアーキテクト業務管理 ・チームメンバとの連携 ・チームメンバの動機付けと達成感共有								○											
リーダシップ		リーダシップ（技術チーム以外） ・目標の共有 ・ITアーキテクト業務の推進 ・ITアーキテクト業務の実行 ・協業								○											
コミュニケーション		2Wayコミュニケーション ・対話およびインタビューの実施 ・意思疎通 ・コミュニケーション手法の活用と実践 ・効果的な話し方、聞き方の実践									○										
コミュニケーション		情報伝達 ・プレゼンテーション技術の活用と実践 ・公式または非公式文書の作成 ・文書表現および表現力の活用と実践 ・メディア選択 ・説得技法の活用と実践									○										
コミュニケーション		情報の整理・分析・検索 ・状況対応能力の育成、実践 ・状況理解力の活用と実践 ・ミーティング運営技術の活用と実践									○										
ネゴシエーション		ネゴシエーション ・交渉プロセスの把握と実践 ・効果的な交渉技法の活用と実践 ・信頼関係の確立 ・目標の設定 ・共通利益 ・論理的思考の実践 ・問題解決手法の活用と実践										○									

©2006経済産業省，独立行政法人　情報処理推進機構